授業案＜A2＞　目的地への行き方を聞く

目標	レベル	A2		活動の種類	やりとり（口頭）
	Can-do	活動	道に迷ったとき、目的地への行き方について、短い簡単な言葉で人に質問したり、説明したりすることができる。（情報交換する、A2、JF Can-do 373） ※この Can-do を目標にした授業デザインが『まるごと　日本のことばと文化』初級 1 A2 トピック 3「わたしのまち」第 6 課「まっすぐ行ってください」で見られる。		
		能力	基本的なコミュニケーションの要求を満たすことができるだけの語彙を持っている。（言語構造的能力　使用語彙領域、A2.1、CEFR Can-do 397）		
			いくつかの単純な文法構造を正しく使うことができるが、依然として決まって犯す基本的な間違いがある―例えば、時制を混同したり、性・数・格などの一致を忘れたりする傾向がある。しかし、本人が何を言おうとしているのかはたいていの場合明らかである。（言語構造的能力　文法的正確さ、A2、CEFR Can-do 411）		

Can-do 達成に必要な知識・能力	語彙	町の中の目印を表す語彙（駅、交差点、バス停、角、信号、ビル、建物、川、橋、横断歩道、スーパー、市場、学校、映画館、店、～屋、など）
	表現	道を説明するときに使う表現（まっすぐ行って、～つめの角を右に曲がる、橋をわたる、など）
	文型	～てください、～て～て、～じゃなくて～です、～たいんですが・・　など

想定する授業時間	2～3 時間

使用できる教材	・「教科書を作ろう」教室活動 7-7「駅はどこですか」 ・「まるごと＋（まるごとプラス）」初級 1　A2　トピック 3「わたしのまち」　第 6 課「まっすぐ行ってください」

[授業の流れ]

活動内容		参考	使用できる教材・リソース
目標の確認	目標 Can-do を確認する。		
背景知識の確認 経験の振り返り 文化理解活動	外国で、あるいは旅行中に道や駅で迷ったことがあるか、目的地への行き方を外国語で人に聞いたり聞かれたりしたことがあるか、そのときに教えてあげられたか、などの経験について話し合う。日本での経験もあれば話す。	学習者の母語や共通語で行ってもよい。	「まるごと＋（まるごとプラス）」初級 1　A2 トピック 3「わたしのまち」第 6 課「まっすぐ行ってください」の「ドラマでチャレンジ」の「12 道案内＆13 聞きまちがいを直す」
聞いて理解し、表現に気づく ↓ 言語知識の確認	目的地への行き方を聞いたり答えたりするやりとりを聞く。	場面や状況を理解してから、会話を聞く。この段階では細かいことが全部理解できなくてもよい。何度か聞いて、全体の流れをつかみ、道を聞いたり答えたりするときによく使われる表現に注意を向ける。	「教科書を作ろう」教室活動 7-7「駅はどこですか」

© The Japan Foundation

	道を説明するときに使う表現、および町の中の目印を表す語彙の理解と確認。	「使用できる教材・リソース」のサイトを使い、音声と絵や写真を照合しながら行うとよい。 余裕があれば、「使用できる教材・リソース」のサイトを使い、より自然な言い方を学習する。（「行きたいんですが・・」「～じゃなくて、ですよ」など）	「まるごと＋（まるごとプラス）」初級１A2 トピック 3「わたしのまち」第 6 課「まっすぐ行ってください」の「語彙」「会話」
パフォーマンスタスク（ロールプレイ）	パフォーマンスタスクをするときに意識できるよう、この段階で目標 Can-do（再度）と評価表の内容を確認する。 地図とロールカードを使って、状況・役割（道に迷って聞く人と答える人）の設定をし、インフォメーションギャップを使ってロールプレイをする。	ロールプレイの準備として、ペアで、目的地までの道を聞いたり、答えたりする練習をする。互いが知っている近所の実際の道を思い浮かべて練習してもよい。（または、先にロールプレイを行って、できなかったところをペアで練習してもよい） 余裕があれば、地図に学習した語彙を追加し、より複雑な地図にしてもよい。	評価シートの例（下記） 「教科書を作ろう」7-7「駅はどこですか」（二枚の地図）
評価	目標 Can-do が達成できたかどうか、評価（自己評価や学習者同士の評価）する	教師評価や日本語のチェックは必要に応じてこの後で行う。	評価シートの例（下記）
まとめ	気づいたことを話し合う。	やってみて難しかったこと、自国との違い、文化理解に関することなど（例：知らない人に道を聞くか、どのぐらい親切に教えてあげるかなど）。 学習者の母語や共通語で行ってもよい。	

[評価シートの例]

	1 もう少し！	2 できた！	3 すばらしい！
全体（活動）	□目的地までの行き方を聞くことができなかった	□目的地までの行き方を聞くことができた。	□目的地までの行き方を聞いて、確認することができた。
	□相手がわかるように、目的地までの行き方を説明することができなかった。	□なんとか相手がわかるように、目的地までの行き方を説明することができた。	□とてもわかりやすく、目的地までの行き方を説明することができた。
ことば・表現	□町の中の目印を表す語彙や、道を説明するための表現が使えなかった。	□町の中の目印を表す語彙や、道を説明するための語彙をなんとか使えた。	□町の中の目印を表す語彙や道を説明するための語彙を楽に使うことができた。
文法	□道を聞いたり、説明したりするときに必要な文法が使えなかった。	□まちがいはあるが、道を聞いたり、説明したりするときに必要な文法をなんとか使うことができた。	□道を聞いたり、説明したりするときに必要な文法を十分知っていて、楽に使うことができた。まちがいがほとんどなかった。

© The Japan Foundation